

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-12265

(P2002-12265A)

(43)公開日 平成14年1月15日(2002.1.15)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターミナル*(参考)
B 6 5 D	77/06	B 6 5 D 77/06	C 3 E 0 6 0
	5/42	5/60	C 3 E 0 6 4
	5/60	30/08	3 E 0 6 7
	5/74	5/42	C
	30/08	5/74	M
審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 8 頁)			

(21)出願番号 特願2000-196134(P2000-196134)

(22)出願日 平成12年6月29日(2000.6.29)

(71)出願人 396019712

長田 宏泰

富山県魚津市大字大海寺野991

(72)発明者 長田 宏泰

富山県魚津市大字大海寺野991

(74)代理人 100083177

弁理士 恒田 勇

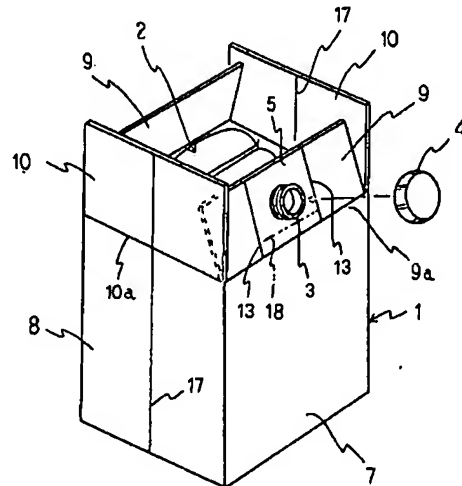
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器

(57)【要約】

【課題】 内容物を注出しやすい形態に注出口を内フラップより突出するよう高く形成しても、キャップが上の容器の積み重ねに支障とならずに容器の上面が面一となり、内容物の取出し、キャップの取付け取外しが容易である内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器を提供する。

【解決手段】 上端が内フラップに外フラップを重ねて閉じられる形式の組立容器と、上端にキャップ付き注出口が突設された内袋とからなり、内フラップには注出口が貫通して取り付けられ、その取付けについて、該内フラップに、または内フラップとそれが突設される面壁との双方にわたって切込みを設けることにより、注出口の取付け部分を、外フラップに間隔を置いて低くなる落込片として形成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 上端が内フラップに外フラップを重ねて閉じられる形式の組立容器と、上端にキャップ付き注出口が突設された内袋とからなり、内フラップには注出口が貫通して取り付けられ、その取付けについて、該内フラップに、または内フラップとそれが突設される面壁との双方にわたって切込みを設けることにより、注出口の取付け部分を、外フラップに間隔を置いて低くなる落込片として形成したことを特徴とする内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項2】 前記切込みが内フラップと面壁との双方にわたって縦に形成され、落込片が水平に折り込まれ得るように、内フラップが折られる罫線よりも下に落込片の折込線を形成したことを特徴とする請求項1記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項3】 前記切込みが内フラップと面壁との双方にわたって縦に形成され、落込片の一部が斜めに形成されるよう二本の折込線を設け、注出口の取付け部の落込片が水平に折り込まれるように、少くとも一方の折込線を内フラップが折られる罫線よりも下に落込片の折込線を形成したことを特徴とする請求項2記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項4】 前記縦の切込みが内フラップの先端近くに達する1条または2条であって、落込片の先端部に、切込みの先端に連なる横の山折込線とそれより基端寄りの横の谷折込線とを設けることにより、その両折込線の間を落込片が内フラップからL字形に段落する支持片として形成したことを特徴とする請求項2記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項5】 幅中央よりも一辺寄りに縦の切込線を内フラップと面壁にかけて形成する一方、これに隣接して外フラップと側壁とは切欠口を設け、上記縦の切込線の下端から切欠口へ折込線を設けることにより、一端に落込片を形成したことを特徴とする請求項2記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項6】 前記内フラップが突出する面壁に内袋が接着してあって、その反対の未接着側において、内袋に接着側に対して内袋を注出口へ開くように保持する補強板が折込線と交差するように接着してあることを特徴とする請求項1、2、3、4または5記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項7】 両外フラップとそれが突出する両側壁に、外側への畳み折線を巾中央に沿って設け、前後対称に折り畳み得るように構成したことを特徴とする請求項1、2、3、4または5記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項8】 注出口が、内フラップの貫通用の取付け孔の口縁を挟む上下鉤を有する形状であって、その取付けについて、内フラップに、取付け孔を取付け時に一旦開くための切溝と仮折線とを形成したことを特徴とする請求項

1、2、3、4、5、6または7記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項9】 注出口を角形状の押し込み蓋形状とし、落込片を長くしL型形状により落込片の落ち込みを防止できるようにしたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7または8記載の内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【請求項10】 組立容器と、上端にキャップ付注出口が突設された内袋とからなり、上記容器壁に上記注出口が取付けられた容器において、上記容器の折り曲げ罫線に切り込みを設けることにより、注出口の取付け部分を折り曲げ罫線に間隔をおいて低くなる落込片として形成したことを特徴とする内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、例えば、内袋が予め納まる段ボール箱のように、内袋の注出口（注出口兼用、スパウトともいう）が内フラップに貫通して取り付けられる容器に関し、詳しくは、その注出口のキャップが上の容器の積み重ねに支障のないよう上面が平らに組み立てられる、内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器に関する。

【0002】

【従来の技術】内袋に内容物を詰めてから容器に納めることは非常に困難を伴うことから、従来、流動物の袋詰め段ボール箱においては、予め内袋がセットされたものが使用される。これによると、内フラップに注出口を貫通して突設しておき、外フラップを開いた状態において、注出口から内容物が注入・注出される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この種の容器においては、注出口およびキャップが内フラップの上に突出するため、それを支えて外フラップが平らに閉じられないことから、上の容器を安定して積み重ねることができないという問題があった。

【0004】従来、上記の問題を解決するために、注出口について、周縁部に囲まれる内側をキャップが納まる凹部として低く形成し、凹部の中央部にキャップを螺じ込む筒口を突設し、キャップが凹部に納まるために低く嵌め込まれるように構成していた。しかし、これによると、注出口が低くなるために、内容物の注出時に他の容器に口付けが困難であり、吐出勢いが得られないことから、液だれが生じる難点があり、また、容器の内側から見ると、注出口の凹部が凸として内容物の注出の障害となり、このため、最後に内容物の取り残しが生じやすく、しかも、凹所操作となるためキャップの開閉にも困難を伴うという問題があった。

【0005】この発明は、上記のような実情に鑑みて、内容物を注出しやすい形態に注出口を内フラップより突

出するよう高く形成しても、キャップが上の容器の積み重ねに支障とならずに容器の上面が面一となり、内容物の取出し、キャップの取付け取外しが容易である内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器を提供することを目的とした。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、この発明は、上端が内フラップに外フラップを重ねて閉じられる形式の組立容器と、上端にキャップ付き注出口が突設された内袋とからなり、内フラップには注出口が貫通して取り付けられ、その取付けについて、該内フラップに、または内フラップとそれが突設される面壁との双方にわたって切込みを設けることにより、注出口の取付け部分を、外フラップに間隔を置いて低くなる落込片として形成した内袋のキャップ付き注出口を備えた組立容器を構成した。

【0007】上記の構成によれば、切込みによりキャップの突出高さ程度に落込片を低くなるようにすれば、キャップがそれだけ低くなるために、上の容器を積み重ねる凸としての障害にならないものであって、これによって、注出口を液だれの生じない突出形態になし得る。しかも、注出時には、手作業により、あるいは内圧によって落込片が外へ出るため（形態により復元状態、それ以上の出張り状態、あるいは復元状態に近い状態となつて）、容器の内側における凸の状態が解消されることから、内容物の取り残しも生じない。また、キャップの取付け取外しも普通のキャップと同様に容易である。

【0008】切込線のみによって落込片を形成すると（第1の実施例参照）、その復元は容易となるが、折込線が加わると（他の実施例参照、請求項2等）、落込片を都合良く体的にも良好に水平状態になし得る。殊に、請求項4の如くすれば、支持片により落込片が水平状態に保持される。

【0009】また、請求項6の如く構成すると、補強板が注出口へ向かって内袋を開くように作用するため、内容物を入れる際にそれを注入しやすい。

【0010】さらに、請求項7の如く構成すると、容器を前後対称に折り畳み得ることから、内袋を容器の内周の前後面または各面に接着してあっても、折り畳みおよび組み立てに順応して内袋が支障なく開閉することから、内容物の注入がしやすい。

【0011】また、請求項8のように構成すると、上下鉤が取付孔の口縁を挟む形態が得られ、注出口の強固な取付け状態が得られる。

【0012】

【発明の実施の形態】この発明において、組立容器であればその形態や材質を特に限定するものではなく、その材質については、各種紙段ボールの他、例えば板紙、樹脂板、発泡樹脂板、プラスチックの段ボール構造体等が挙げられる。また、落込片5の形成についても後記実施

例に見られるように様々となるが、これに限定されるものではなく、構造上複合した形態も考えられる。

【0013】また、注出口3およびキャップ4についても、例えば内フラップ9よりも上へ突出する形態であれば良く、円形ねじタイプ、缶の円形押し込みタイプ、角形の押し込みタイプ等が考えられる。

【0014】さらに、内袋2については、内容物の種類によって、プラスチックフィルム製、アルミ蒸着フィルム製、紙製、フィルムとアルミ箔のラミネート製、それらの複合形態等の製品が挙げられる。また、プラスチックフィルム2重袋による形態もある。内容物については、液体化学品（接着剤、化学品、インク、ペンキ）、液体食品（醤油、ミリン、水、焼酎、酒）、粉体（医薬品原料）等の包装に適していると考えられる。

【0015】容器に対する内袋のセットの仕方も様々となり、容器に対して未接着のこともある。接着する場合には、容器の組み立て折り畳みに順応するようにすることが望ましく、内袋と分離しやすい点接着や線接着、また内袋を完全に固定する全面接着等が考えられる。

【0016】ちなみに、第1の実施例（図1、図2）では、前後両面壁7、7に、第2の実施例（図3ないし図5）では、底面の前部内フラップ11に、第3の実施例（図6ないし図8）では、前後面壁7、7に、第4の実施例（図9、図10）では、前面壁7に、第5の実施例（図11、図12）では、前面壁7、前部上下外フラップ9、11、および上下外フラップ10、12の前半部に、第6の実施例（図13、図14）では、外フラップ10、12の二点鎖線33で示す山形の外側を除く箱内全面に、それぞれ接着される。

【0017】なお、内容物が詰められた容器は、粘着テープ、バンド、ロープ等によって適宜締結されることはいうまでもない（図示省略）。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、組立容器において、内袋のキャップ付き注出口を内フラップの上面に突出するように取り付けても、その取付け部分が落込片であるために、キャップが上の容器の積み重ねに支障にならない組立てに成功したものであって、キャップの突出形状により液だれしなく、内容物を都合良く容易に注出でき、加えて落込片を引き出すことにより残らずに完全な取り出し方もなし得るという優れた効果を奏する。しかも、キャップの開け閉めも容易である。

【0019】

【実施例】次に、この発明の幾つかの代表的な実施例を図面に基づいて説明する。

【0020】いずれの実施例においても、容器本体としての組立箱1とその中に納められる内袋2とからなり、内袋2にキャップ4付き注出口3が一体に取り付けられる。組立箱1は、A式段ボール箱が特に好ましいが、限

定されるものではない。この組立箱1は、前後面壁7、7と左右側壁8、8が交互し、前後面壁7、7の上端に内フラップ9、9が、左右側壁8、8の上端に外フラップ10、10がそれぞれ突設される。9a、10aがそれぞれの折り曲げ野線を示す。なお、下端にも同様に内フラップ11、11、外フラップ12、12を有する(図4、図7参照)。そして、注出口3は、上端の一片の内フラップ9に貫通させて、その上面に突出され、その取付け部分が落込片5として形成されている。

【0021】図1および図2は第1の実施例を示したもので、一片の内フラップ9に、それを3分割するように2条の縦の切込み13、13を形成し、中央部片を落込片5としてそれに注出口3を取り付けた。この場合、蓋締めとして外フラップ10、10が内フラップ9、9に折り重ねられると、キャップ4が押圧され落込片5の曲がる弾性変形を伴わせて外フラップ10の下に押し込まれる。

【0022】なお、同図の場合、組立箱1は前後対称に折り畳みできるように、左右両側壁8、8とその上下両端の外フラップ10との巾中央に外側へ曲がる山折りの畳み折線17、17が形成され、内袋2はその折込みに随伴しやすく前後面壁7、7に接着される。

【0023】図3ないし図5は第2の実施例を示したもので、この場合は、一片の内フラップ9の巾中央部に2条の縦の切込み13、13を上端近くから設けると共に、面壁7の上端に延長して野線9aより下へ短く切込み13、13を形成し、さらに両切込み13、13の上端を結ぶ別途横の切込み14を設ける他、下端を結ぶ折込線15を設け、この折込線15により折り曲がる片を落込片5としてある。したがって、落込片5は折込線15の高さにおいて水平となり得る(図5)。

【0024】また、落込片5の基端部には野線9aを残してあり、その残存野線9bがあるために落込片5が復元しやすい。さらに、両外フラップ10、10には、キャップ4の当たりを切り開くミシン目状の切取線18、18が形成される。これにより流通過程における不正開きが防止されると共に、開封が容易となる。

【0025】注出口3は、取付孔6の口縁を挟む貫通に障害となる上下鋸3a、3bを有するので、その取付けについては、取付孔6の円形部から接線方向の一对の切溝6a、6aとその端を結ぶ仮折線6bとを落込片5に形成し、それらに囲まれる部分を一旦開き得るようにしてある。

【0026】第6図ないし第8図は第3の実施例を示し、この場合は、幅中央よりも一辺寄りに1条の縦の切込線13を内フラップ9と面壁7にかけて形成する一方、これに隣接して外フラップ10と側壁8とは切欠口19を設け、縦の切込線13の下端から切欠口19へ折込線15を設けることにより、一端に落込片5を形成してある。

【0027】したがって、この実施例の場合であると、角部に内袋2の注出口3が取り付けられ、切欠口19の中にキャップ4が納まる形態となっている。そして、外フラップ10、10を封じたままキャップ4を取り外せ得るように、切欠口19が円形に拡張されている。また、落込片5の側縁5aが切欠口19の下端縁8aに掛かり、これにより落込片5が下がらないよう受けられている。

【0028】図9および図10は第4の実施例を示したもので、中央部に左右2条の縦の切込線13、13を内フラップ9と面壁7とにかけて設け、その両下端間を結ぶ折込線15を形成することにより落込片5を備えたものであるが、落込片5の先端が谷折りの折込線15aと山折りの折込線15bとを介して内フラップ9と連続しており、両折込線15a、15b間が落込片5の先端を下降不能に保つ支持壁21として形成される。その意味において、第2の実施例(図3ないし図5)を発展させたものであると言える。

【0029】また、内袋2は、プラスチックフィルム製であって、前面壁7にのみ接着され、このままでは、内袋2の後部が接着前部に密着することにより注出口3の下口が塞がれるので、後部に厚紙の補強板22を接着し、落込片5の形成時に折込線15を曲げることにより、折込線15と交差するように接着した補強板22の両端が、それぞれ落込片5及び面壁7に当たり、その剛性で補強板22が内側に押し戻され、三角形の空間ができることにより、内容物を注入し易く開くようにしてある(図10二点鎖線参照)。また、この場合、キャップ4が不正に開けられないよう、外フラップ10、10より封じられるが、正面に開口20を有する。

【0030】また、L型にして注出口3を取り付けてある。L型で注出口3が切り離されていないため強度もあり、注出入時に注出口3を強く引いたり押下げたりすることが可能である。そのため、注出入時は注出口3を強く引き突出させた状態で使用することで、内容物が容器の周囲に付いたりせず、容易に注出入することができる。

【0031】一方、L型に落込片5を押し上げ落し込むことで、輸送、保管時には積み重ねが可能となる。また、L型形状については、山折りの折込線15aを溝入り野線に、谷折りの折込線15bを半切り野線にすることで、容易にL型形状にすることができる。

【0032】第5の実施例(図11および図12)は、両外フラップ10、10の上端部一側端に、開口20を封じる耳片23、23を折線25、25を介して突設したもので、これによりキャップ4が外観的に見えなく完全に封じ込まれ、テープ等で封緘しておけば、流通経路における不正が完全に防止される。

【0033】図13および図14は第6の実施例を示したもので、この場合は、第2の実施例(図3ないし図

5)に類似した形態において落込片5が形成されるが、それを折り曲げる下端の折込線15を段ボールの厚み程度の段差mで形成し、落込片5の先端が爪部27として内フラップ9の切込口縁29に上動不能に引っ掛かるようにしたものである。

【0034】また、両外フラップ10、10の上端一角に切欠き31、31を設け、両切欠き31、31の合体口からキャップ4が露出するようにしてある(図14)。したがって、この実施例の場合は、外フラップ10、10を封じた状態でキャップ4が開閉できる。なお、キャップ4の上端は外フラップ10の上面とほぼ同じ高さとなるようにしてある。

【0035】図示は省略するが第7の実施例として、第1の実施例の図1で説明すると、落込片5の基端に谷折れの折込線18を設けると、落込片5を段差させて平たく落ち込ませることができる。

【0036】図15および図16はさらに別の実施例で、落込片5の基端部分5aが斜面を形成するように、下端の折込線15及び円形の取付孔6寄りの山折込線15cが形成されている。このように、この実施例では、切込み13が内フラップ9と面壁7との双方にわたって縦に形成され、落込片5の一部が斜めに形成されるよう二本の折込線15、15cを設け、注出口3の取付部の落込片5が水平に折り込まれ得るように、少くとも一方の折込線が、内フラップ9が折られる罫線9aよりも下に落込片5の折込線15を形成してある。

【0037】この実施例容器は、次の様な場合に使用されて便利である。即ち、最近、内容物が塗料等の場合に、少ロット又は多品種に対応するため、輸送用容器の中で調色する缶内調色が行なわれている。これは缶の中に顔料を入れ、缶そのものを攪拌するもので、この時、容器の角の部分が混ざりにくいので、角を斜めにして混ざりやすくすることが望ましい。この実施例容器は、正に上記の目的のために最適である。

【0038】図17は、さらに別の実施例を示したもので、組立容器と、上端にキャップ付注出口が突設された内袋とからなり、上記容器壁に上記注出口が取付けられた容器において、上記容器の折り曲げ罫線に切り込みを設けることにより、注出口の取付部分を折り曲げ罫線に間隔を置いて低くなる落込片として形成してある。

【0039】これは、組立容器を立てて、その側面を上にして本発明を実施した例で、A式ケースのみならず、B式ケースにおいても実施できる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を上端開放状態で示す斜視図である。

【図2】同容器の組立て状態を示す要部拡大断面図である。

【図3】第2実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を組立て状態で示す斜視図である。

【図4】同容器の組立箱の展開図である。

【図5】図3のA-A線矢視の拡大断面図である。

【図6】第3実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を組立て状態において示す斜視図である。

【図7】同容器の組立箱の展開図である。

【図8】図6のB-B線矢視の拡大断面図である。

【図9】第4実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を上端開放状態で示す斜視図である。

【図10】同容器を組み立て状態で示す要部拡大断面図である。

【図11】第5実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を上端開放状態で示す斜視図である。

【図12】同容器を組立て状態で示す上端部斜視図である。

【図13】第6実施例として、内袋のキャップ付き注出口を備えたフラップ開閉式組立容器を上端開放状態で示す斜視図である。

【図14】同容器を組立て状態で示す要部拡大断面図である。

【図15】さらに別の実施例を示した斜視図である。

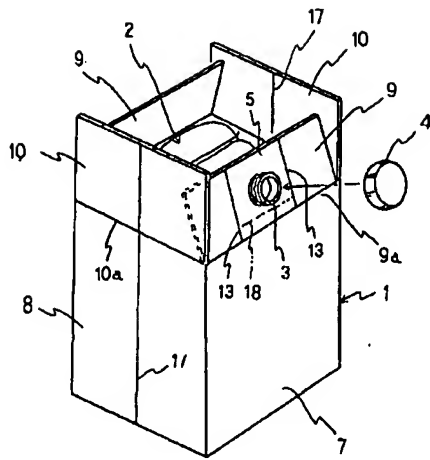
【図16】図15の実施例容器の一部展開図である。

【図17】さらに別の実施例を示した斜視図である。

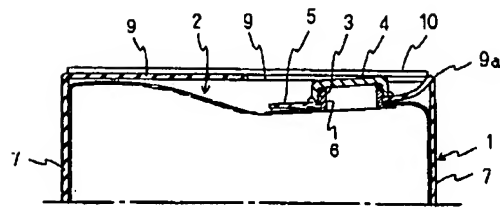
【符号の説明】

- 1 組立容器としての組立箱
- 2 内袋
- 3 注出口
- 3a、3b 上下鋸
- 4 キャップ
- 5 落込片
- 6 取付孔
- 6a 切溝
- 6b 仮折線
- 7 面壁
- 9 内フラップ
- 10 外フラップ
- 13 縦の切込み
- 14 横の切込み
- 15 折込線
- 15a 山折込線
- 15b 谷折込線
- 17 畳み折線
- 21 支持片
- 22 補強板

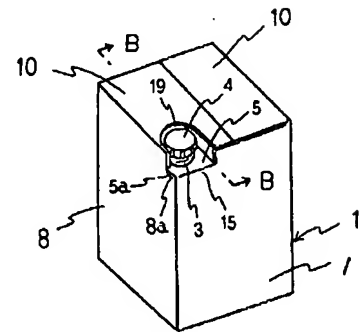
【図1】



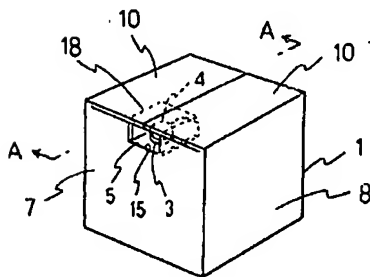
【図2】



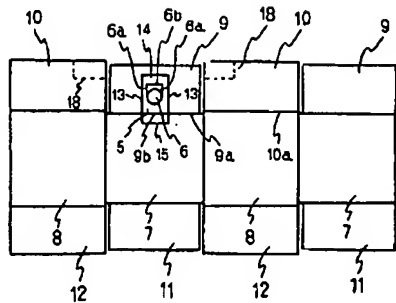
【図6】



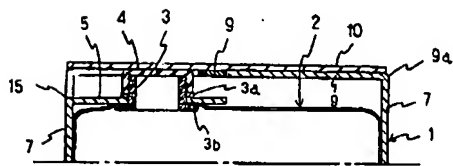
【図3】



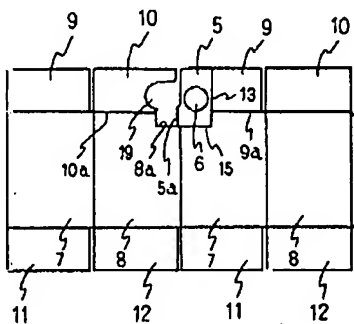
【図4】



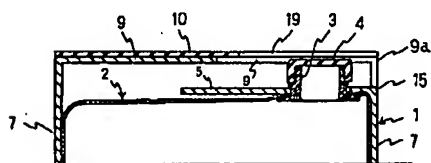
【図5】



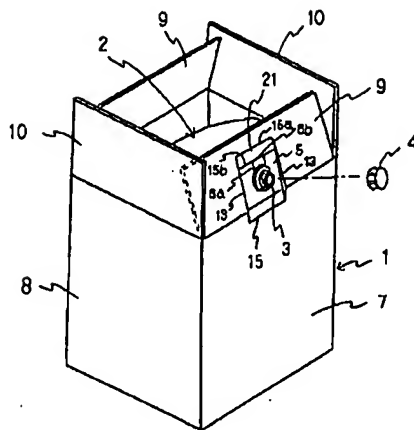
【図7】



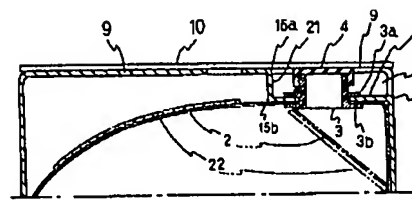
【図8】



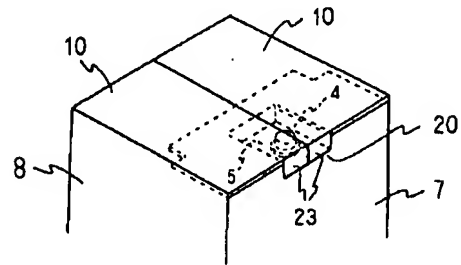
【図9】



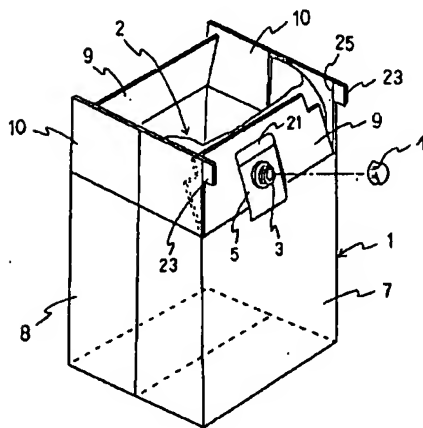
【図10】



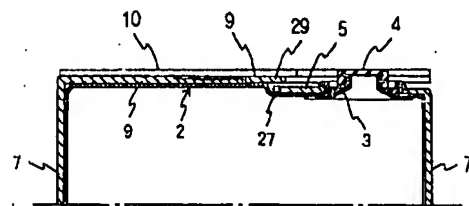
【図12】



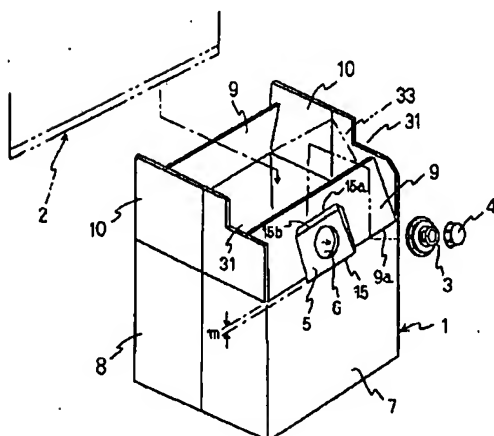
【図11】



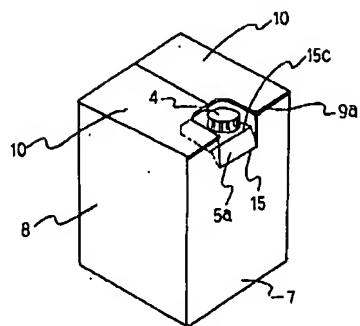
【図14】



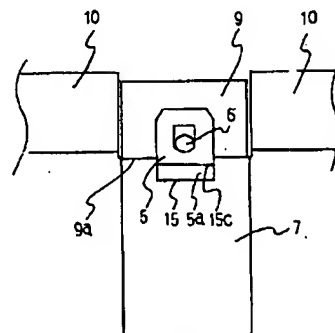
【図13】



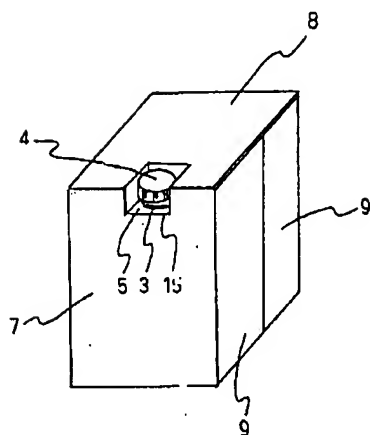
【図15】



【図16】



【図17】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BA03 BC02 BC04
DA07 DA17 EA06 EA13 EA14
3E064 BA01 BA17 BA21 BB03 BB04
EA12 EA21 EA30 FA04 FA05
HM01 HN65
3E067 AA03 AA05 AB26 AB81 AB96
BA05C BA12B BB01B BB02C
BB12B BB14B BB14C BB17C
BB25B BC06B BC06C BC07B
EA01 EA32 ED12 EE50 FA04
FB16 FC01